

---

2020年3月期  
第2四半期  
決算説明会

---

2019年11月26日




極東貿易株式会社

KYOKUTO BOEKI KAISHA, LTD.

TOKYO, JAPAN

- 2020年3月期第2四半期決算概要
  
- 中期経営計画「KBKブレイクスルー2023」重点施策の進捗状況
  
- 2020年3月期業績見通し
  
- 配当に関して



# 2020年3月期第2四半期決算概要

---

# 2020年3月期第2四半期決算概要

連結P/L		(単位:百万円)	
	2019年3月期 2Q累計(4~9月)	2020年3月期 2Q累計(4~9月)	増減金額
売上高	29,570	30,598	1,027
売上総利益	4,060	4,174	114
販管費	3,864	3,817	▲47
営業利益	196	357	160
経常利益	695	440	▲255
親会社株主に帰属 する四半期純利益	573	346	▲226

- ◆ 売上高 ----- 重電設備事業の大口案件納入が早まったことに加え、産業素材関連部門でインド向け設備案件が貢献し増収
- ◆ 売上総利益 ----- 機械関連部門の減速を増収でカバーし増益
- ◆ 営業利益 ----- 売上総利益の増加で増益
- ◆ 経常利益 ----- 上海持分法適用会社の清算に係る引当計上により減益

# 2020年3月期第2四半期決算概要

## 事業の種類別セグメント — 基幹産業関連部門

(単位:百万円)

連 結	2019年3月期 2Q累計(4~9月)		2020年3月期 2Q累計(4~9月)		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
重電設備	6,426	617	7,125	606	698	▲10
鉄鋼関連	555	78	1,034	67	479	▲10
資源開発機器	681	116	344	118	▲337	2
検査装置	391	109	1,039	266	647	157
その他	78	11	35	6	▲43	▲5
合 計	8,133	932	9,578	1,064	1,445	132

■ 重電設備

-----

大口案件の納入が早まったほか堅調に推移したものの大口案件の利益が低かったことから増収減益

■ 鉄鋼関連

-----

中国向け設備案件の売上があるも利益水準が低水準で増収減益

■ 資源開発機器

-----

前年同期のような探査・掘削向け予備品の納入はなかったものの、地熱関連商材が堅調に推移し減収増益

■ 検査装置

-----

リニューアル・メンテナンス事業が好調に推移、試験機も堅調で増収増益

# 2020年3月期第2四半期決算概要

## 事業の種類別セグメント - 電子・制御システム関連部門

(単位:百万円)

連 結	2019年3月期 2Q累計(4~9月)		2020年3月期 2Q累計(4~9月)		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
航空電子	1,331	162	1,054	210	▲277	48
電子機器	577	198	946	267	369	68
計装システム	4,673	298	3,657	249	▲1,015	▲49
合 計	6,581	659	5,658	727	▲923	68

- 航空電子 ----- 前年同期のようなバイオマス発電設備関連機器の納入はなかったものの、自動車用軽量ケーブルが好調で減収増益
- 電子機器 ----- 半導体関連部品の好調に加え、ロシアEVバス向けのリチウムイオン電池事業が堅調で増収増益
- 計装システム ----- 電力向けの大口径案件の納入が前年同期ほどなかったことで減収減益

# 2020年3月期第2四半期決算概要

## 事業の種類別セグメント — 産業素材関連部門

(単位:百万円)

連結	2019年3月期 2Q累計(4~9月)		2020年3月期 2Q累計(4~9月)		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
樹脂・塗料	5,632	555	6,246	533	613	▲22
複合材料	1,101	163	1,422	229	320	66
食品関連	437	90	471	77	33	▲13
合計	7,171	809	8,140	840	968	30

■ 樹脂・塗料

----

米中貿易摩擦の影響から中国向けが伸び悩んだものの、インド向け塗装設備の納入等があり増収減益

■ 複合材料

----

炭素繊維ほか国内複合材料や輸出向け副資材が好調で増収増益

■ 食品関連

----

設備関連は堅調だったものの関連副資材のシェア奪回が進まず増収減益

# 2020年3月期第2四半期決算概要

## 事業の種類別セグメント — 機械部品関連部門

(単位:百万円)

連結	2019年3月期 2Q累計(4~9月)		2020年3月期 2Q累計(4~9月)		増減金額	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
ねじ関連	7,209	1,492	6,803	1,413	▲406	▲79
ばね関連	473	166	417	128	▲56	▲37
合計	7,683	1,659	7,220	1,542	▲462	▲117

■ ねじ関連

----

エトー株式会社のコア事業で、米中貿易摩擦の影響で、中国の建設機械や産業機械向けが大きく落ち込み減収減益

■ ばね関連

----

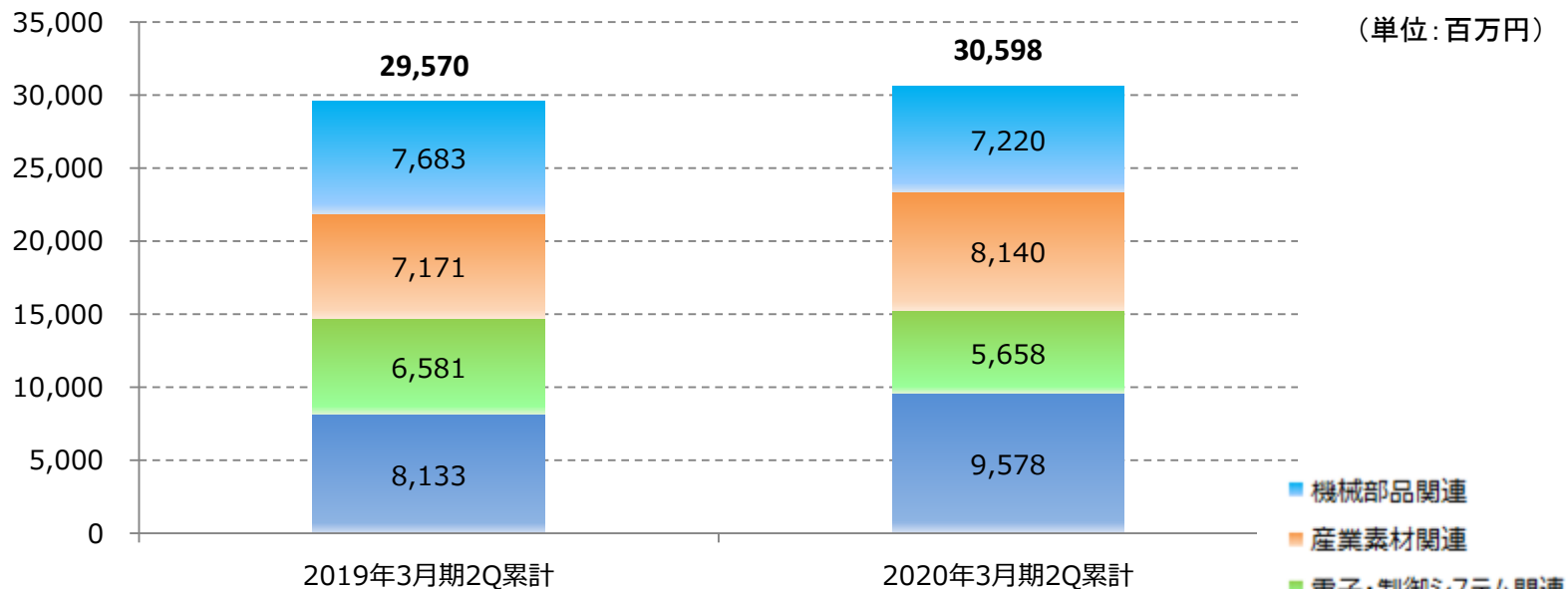
サンコースプリング株式会社のコアビジネスの定荷重ばねが伸び悩み減収減益



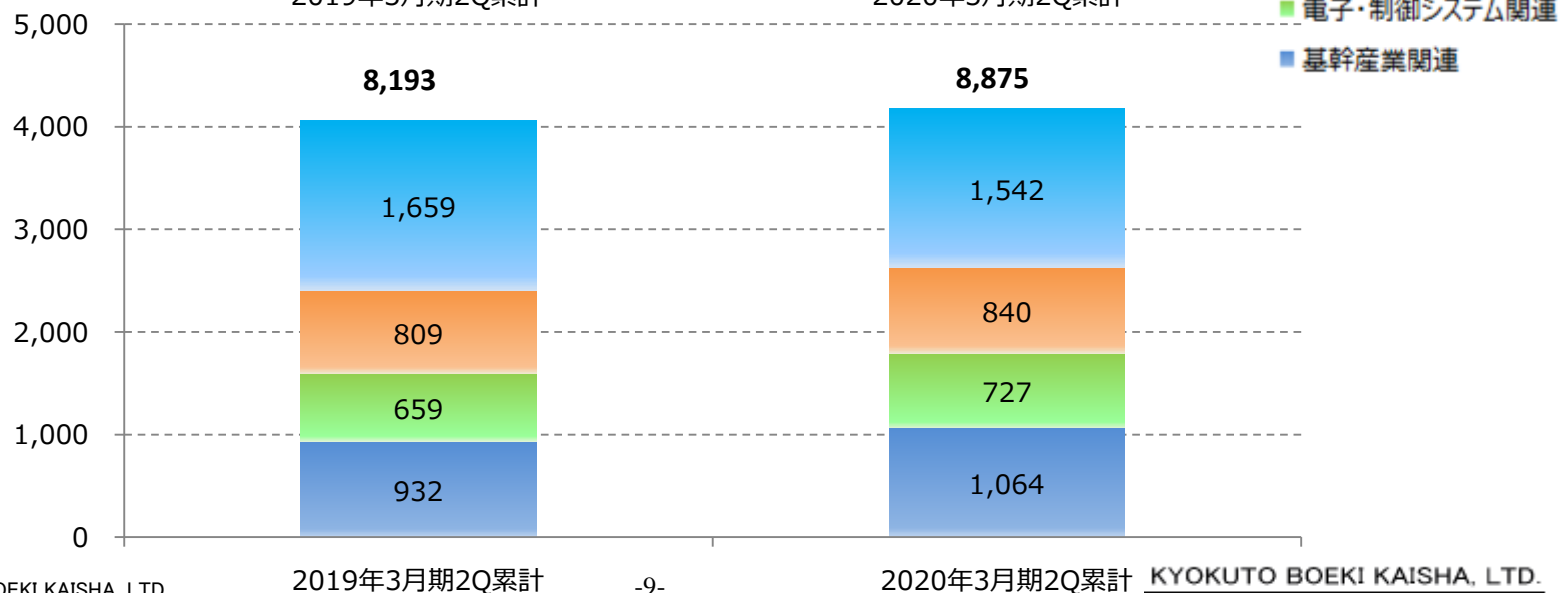
# 2020年3月期第2四半期決算概要

(単位:百万円)

## 売上高



## 売上総利益



中期経営計画

「KBKブレイクスルー2023」重点施策の取組状況

---

# 「KBKブレイクスルー2023」計画経営目標

2024年3月期までに達成すべき目標

連結経常利益	25億円
ROE	8%
総還元性向	35%以上
自社株買い	発行済株式数の10%程度(1~2年以内)

**本年8月13日より自社株買いを実施**

**【上限 発行済株式数の5%（32万株）もしくは5億円】**

## 基本戦略

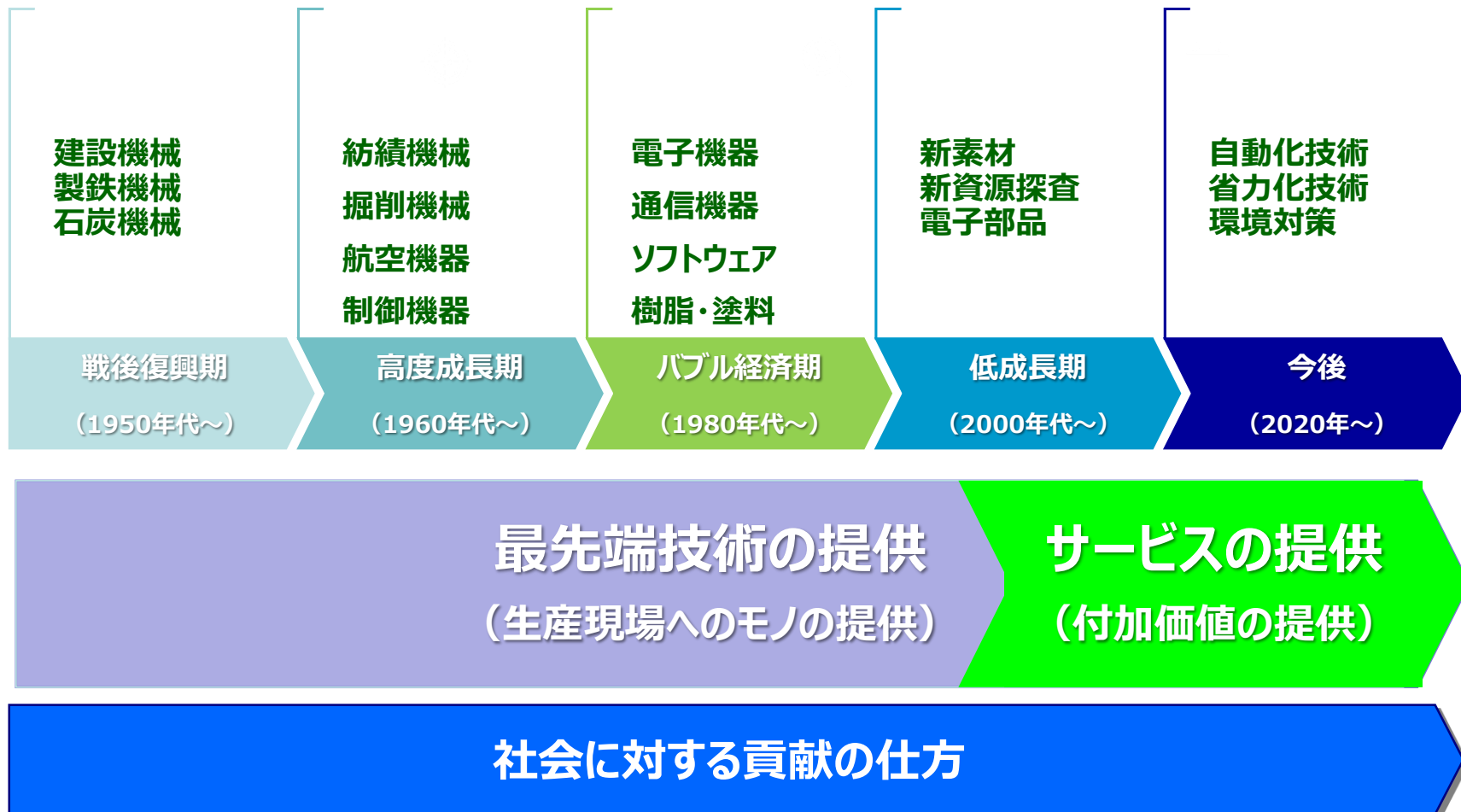
収益力の徹底強化を実現するための機能の追求と結集

全てのステークホルダーに対する責任に応えるための徹底的な企業体質の改善

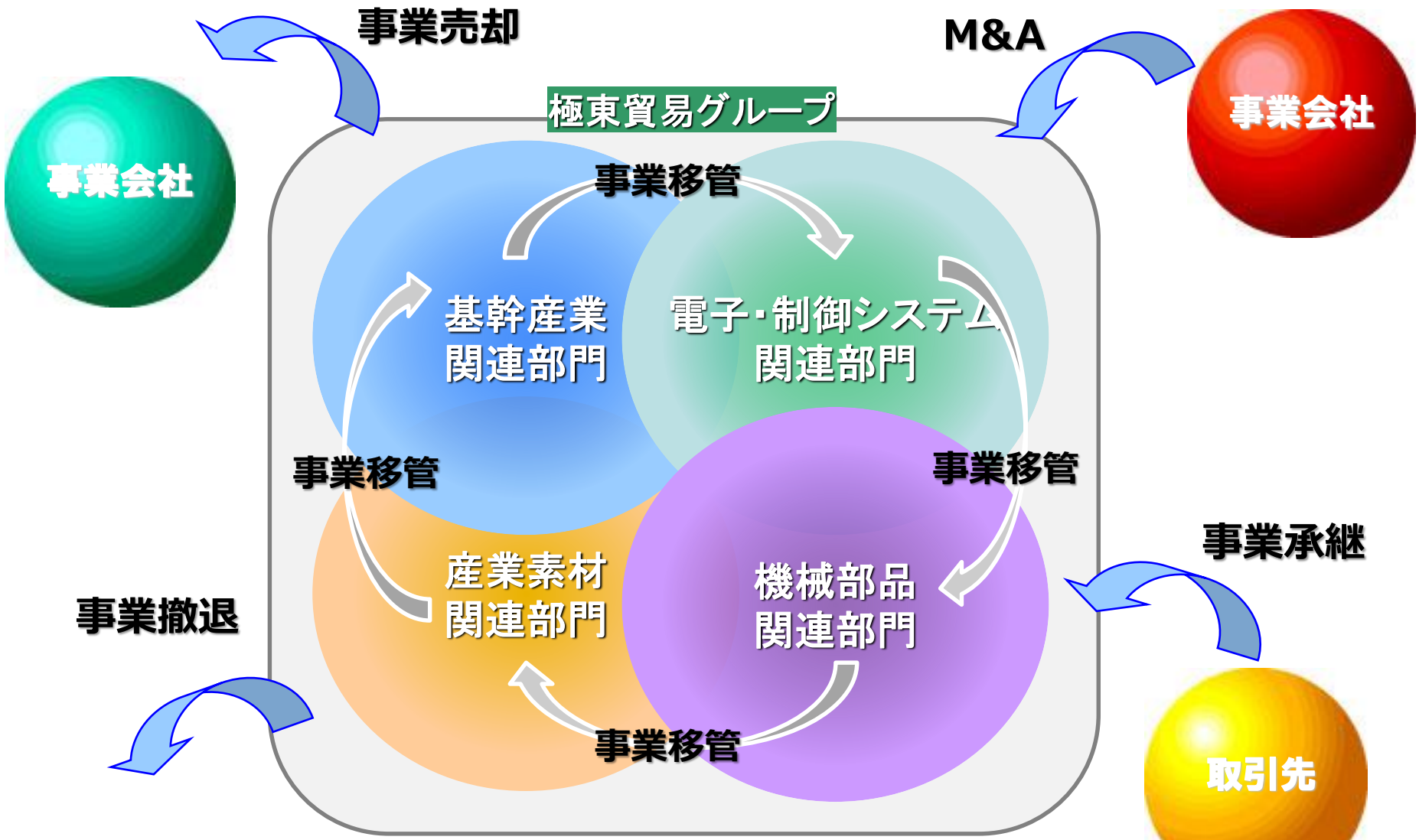
## 重点施策

- 事業ポートフォリオの最適化
- 新たな価値創造を生み出すM&Aと事業投資の実行
- 資本コストを意識したグループ経営の実践
- IR・PR・ER強化による企業価値の向上
- 創造性と柔軟性に富んだ人材の育成

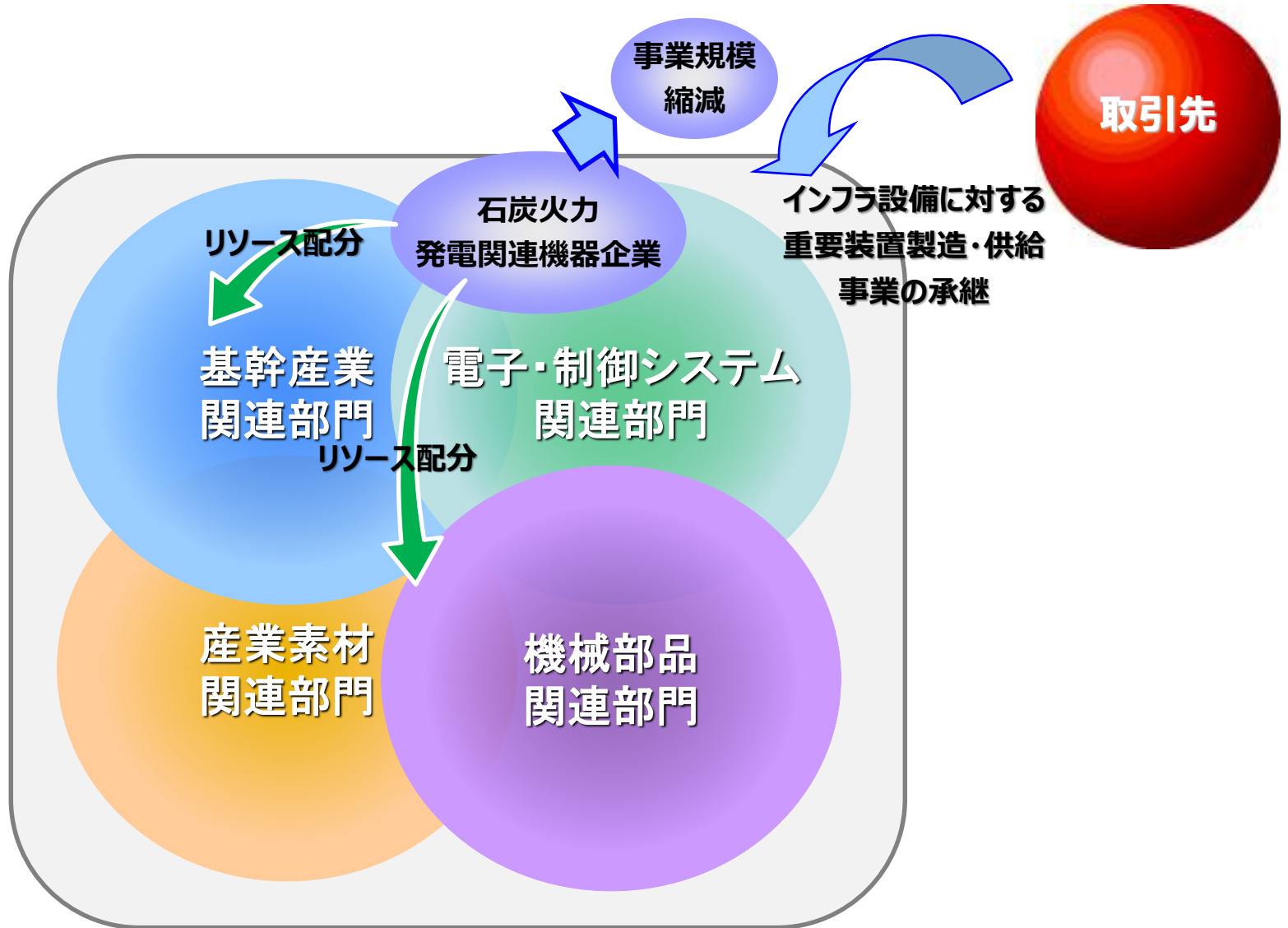
## 極東貿易70年の歩みと事業の変遷



# 事業ポートフォリオの最適化



# 事業ポートフォリオ最適化への取組

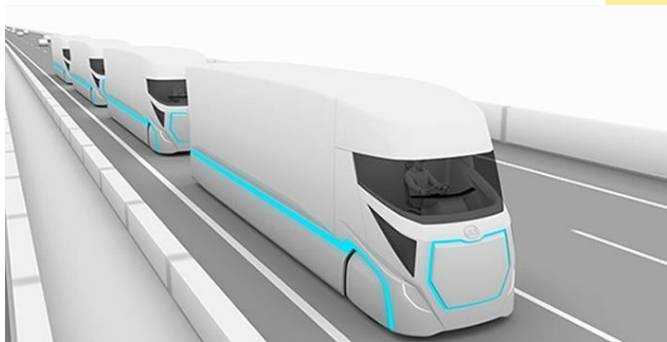


## 構内ロジスティクス事業



国内基幹産業向けに構内ロジスティクス大型移動体を受注。

今後は、産業「省力化」「自動化」をキーワードにしたAI・自動運転技術を取り込んだ事業展開を目指す。



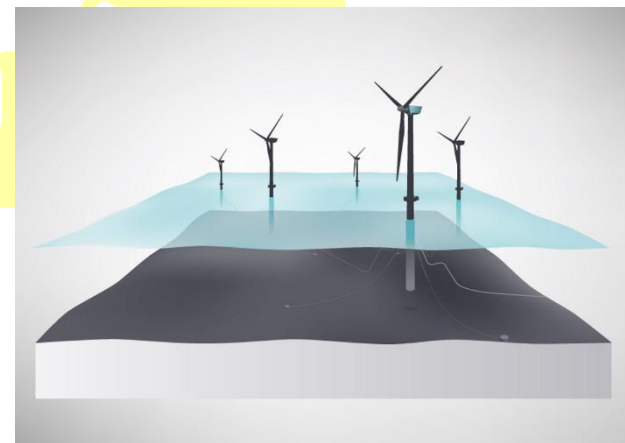
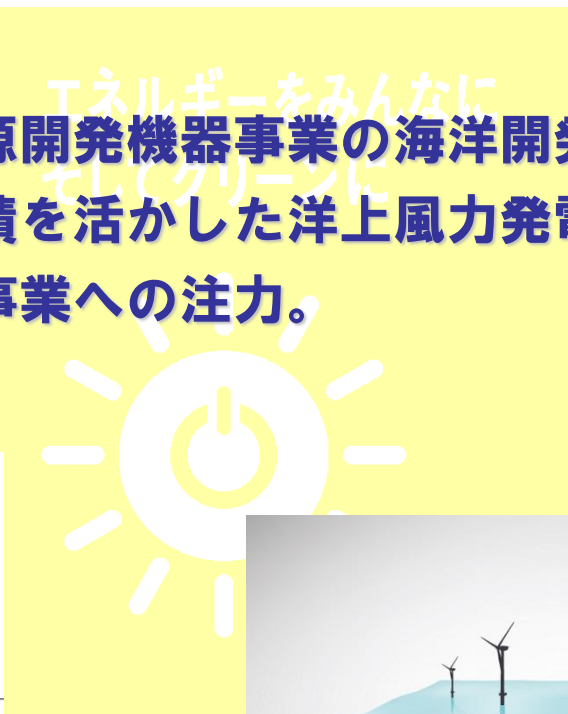
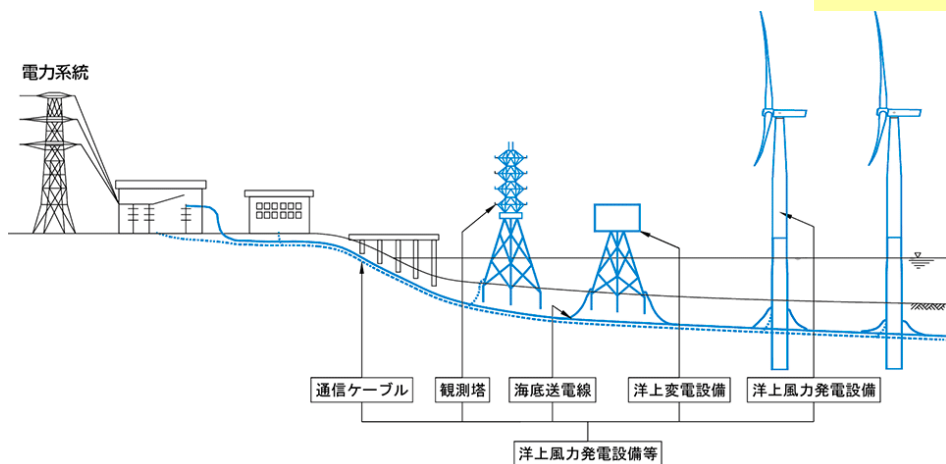
※上記画像はイメージであり、弊社取扱製品とは関係ありません。



## 洋上風力発電設備関連事業

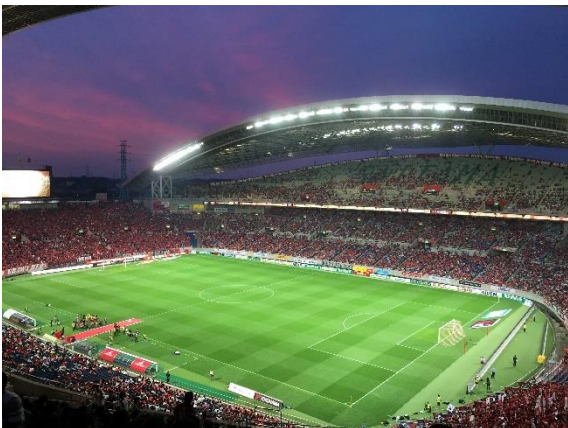


当社の資源開発機器事業の海洋開発の長年の経験と実績を活かした洋上風力発電設備に関連した事業への注力。



※上記画像はイメージであり、弊社取扱製品とは関係ありません。

## エラストマー端材利用事業



熱可塑性エラストマー端材をサッカーグラウンドなどの人工芝用インフィルへの加工販売。端材のリサイクルCO2削減等環境へ寄与するビジネスへの注力。



※上記画像はイメージであり、弊社取扱製品とは関係ありません。

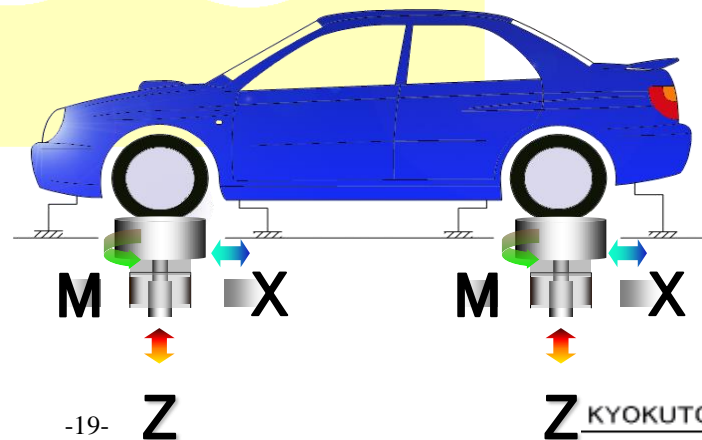
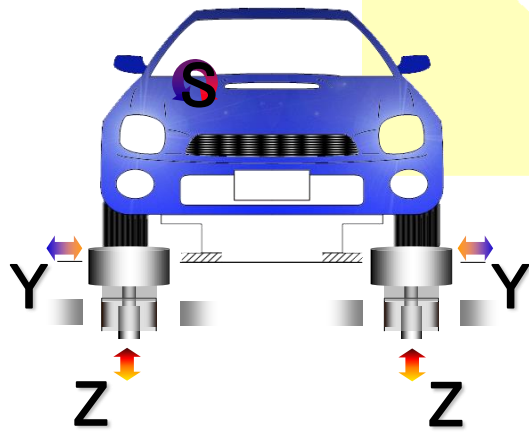
# 事業ポートフォリオ最適化への取組

## 自動車業界の大変革に合わせた取り組み



「CASE」に代表される自動運転やEV化への投資に全力を注ぐ自動車メーカーに代わり、グループ会社オートマックスが、駆動系受託試験を行い駆動試験に使用される要素技術を開発。

※上記画像はイメージであり、弊社取扱製品とは関係ありません。



## 海外拠点の統合



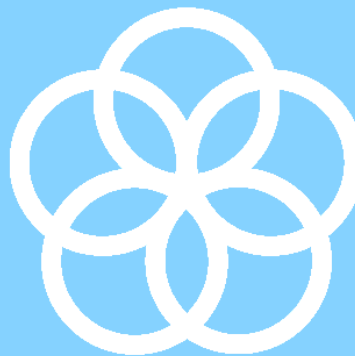
- Eto : 11 offices
- Eto : 3 Factories
- Kyokuto Boeki : 14 offices

拠点の重複機能を排除し、規模の適正化を図りながら収益力の最大化を狙う目的から、現在いくつかの地域での両社海外拠点の統合を検討中

## テクニカルセンター協同設立



インド・チェンナイの当社現地法人拠点内に  
 クボタ計装様とテクニカルセンターを設立。  
 自動車部品業界等向けインドビジネスの一翼を  
 担う機能となることを期待。



## 新たな価値創造を生み出すM&Aと事業投資



**数件の具体的案件検討も実行には至らずも  
紹介事例事業に対する投資、ロングリスト見  
直しを進めながら、M&Aへの注力を継続**





# 2020年3月期業績見通し

---

# 2020年3月期業績見通し

(単位:百万円)

## 2020年3月期 連結業績予想

連結	2019年3月期 実績	2020年3月期 期初計画値	2019年3月期 2Q実績	2020年3月期 通期着地見込
売上高	67,972	69,000	30,598	66,000
売上総利益	8,875	9,000	4,174	8,800
営業利益	1,080	1,100	357	1,000
経常利益	2,023	1,600	440	1,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,276	1,200	346	850

**台風被害の影響は来年度に売上**

**関連会社清算引当計上は当第2四半期で処理済み**



# 2020年3月期業績見通し（事業セグメント別）

## 2020年3月期事業セグメント別 業績見通し

### ■ 基幹産業関連部門

（単位：百万円）

連 結	2019年3月期 通期実績		2020年3月期 期初計画値		2020年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
重電設備	19,819	1,311	15,800	1,350	15,800	1,360
	大口の設備案件は見込めないものの、活況な設備更新需要を背景に着実に受注を積み重ね、売上高は前年度を下回るものの、売上総利益については上回り、ほぼ計画値並みとなる見込み					
鉄鋼関連	1,595	204	2,300	240	2,200	210
	国内設備の納入が堅調に推移し、売上高、売上総利益ともに前年度を上回る見込み					
資源開発機器	1,374	302	2,000	360	1,900	350
	掘削船関連の売上や地熱関連の上積みも見込めることから売上高、売上総利益ともに前年度は上回る見込み					
検査装置	2,003	489	2,400	470	2,300	510
	メンテ・サービスや試験機販売など上期の好調を維持することが見込まれ、売上高、売上総利益ともに前年度を上回る見込み					
その他	144	24	100	20	130	30
合 計	24,937	2,331	22,600	2,440	22,330	2,460

# 2020年3月期業績見通し（事業セグメント別）

## 2020年3月期事業セグメント別 業績見通し

### ■ 電子・制御システム関連部門

（単位：百万円）

連 結	2019年3月期 通期実績		2020年3月期 期初計画値		2020年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
航空電子	2,529	346	4,400	460	4,400	460
	一部延期となっていたバイオマス発電の設備機器納入や自動車向けケーブルの量産受注が本格化売上高、売上総利益ともに前年度を大きく上回り計画値通りとなる見込み					
電子機器	1,864	492	2,100	440	2,200	510
	ドイツ現地法人のリチウムイオン電池事業や半導体関連部品が引き続き堅調に推移する予定であることから、売上高、売上総利益ともに前年度、計画値を上回る見込み					
計装システム	8,173	566	6,500	420	5,700	370
	台風19号の影響で、今期納入予定だった製品のいくつかが来期へと延期になることから売上高、売上総利益ともに前年度ならびに計画値を下回る見込み					
合 計	12,568	1,405	13,000	1,320	12,300	1,340

# 2020年3月期業績見通し（事業セグメント別）

## 2020年3月期事業セグメント別 業績見通し

### ■ 産業素材関連部門

（単位：百万円）

連 結	2019年3月期 通期実績		2020年3月期 期初計画値		2020年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
樹脂・塗料	11,407	1,187	13,500	1,140	12,500	1,200
	中国向けに陰りが見える中で国内およびメキシコ向けが好調に推移することが見込まれ、売上高、売上総利益ともに前年度を上回る見込み					
複合材料	2,686	435	2,400	370	2,700	420
	好調な炭素繊維関連材における厳しい値下げ要求などの影響はあるも、上期に引き続き堅調に推移することが予想され、前年度と比べ売上高は上回り、売上総利益は下回る見込み					
食品関連	899	167	1,300	240	1,200	200
	ハム・ソーセージ用輸入副資材に復調の兆しが見られる中で売上高、売上総利益ともに前年度を上回る見込み					
合 計	14,994	1,791	17,200	1,750	16,400	1,820

# 2020年3月期業績見通し（事業セグメント別）

## 2020年3月期事業セグメント別 業績見通し

### ■ 機械部品関連部門

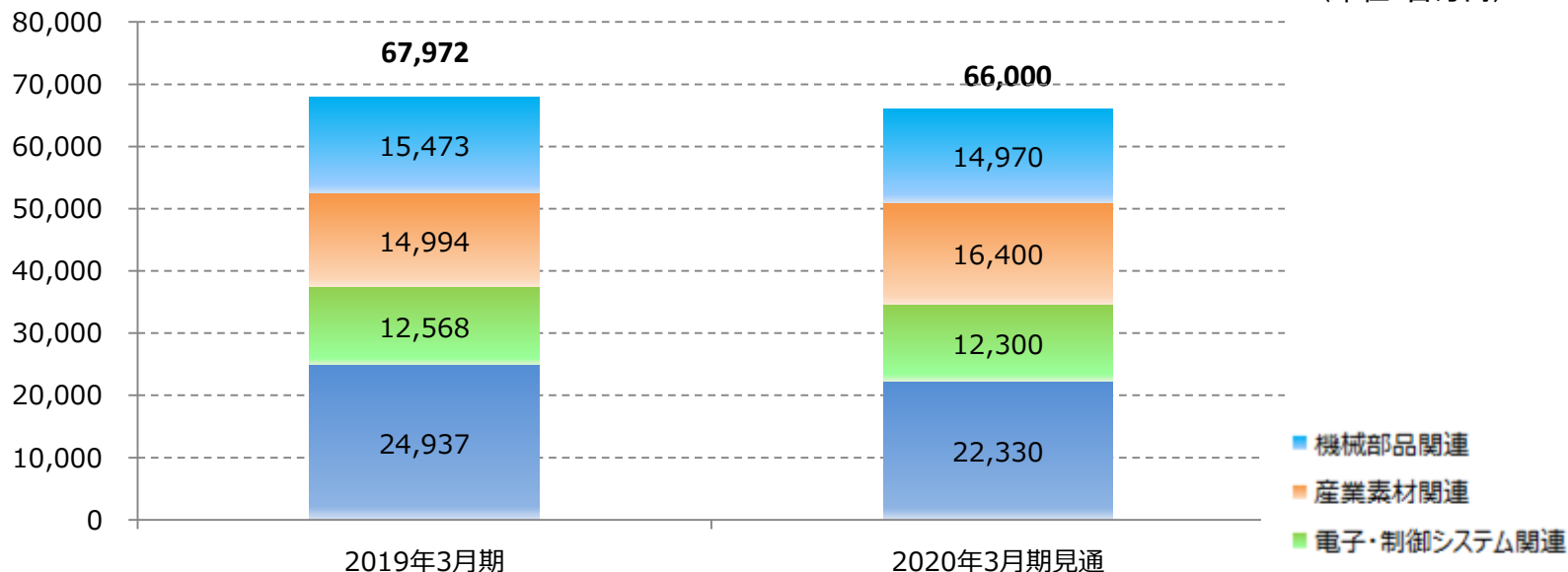
（単位：百万円）

連 結	2019年年3月期 通期実績		2020年3月期 期初計画値		2020年3月期 通期見通し	
	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益	売上高	売上総利益
ねじ関連	14,558	3,043	15,100	3,100	14,000	2,850
	米中貿易摩擦の影響で中国向けに回復の兆しが見られないことから、売上高、売上総利益ともに前年度および計画を下回る見込み					
ばね関連	915	302	1,100	390	970	330
	コア製品である定荷重ばねが下半期復調することが見込まれ売上高、売上総利益ともに前年度を上回る見込み					
合 計	15,473	3,346	16,200	3,490	14,970	3,180

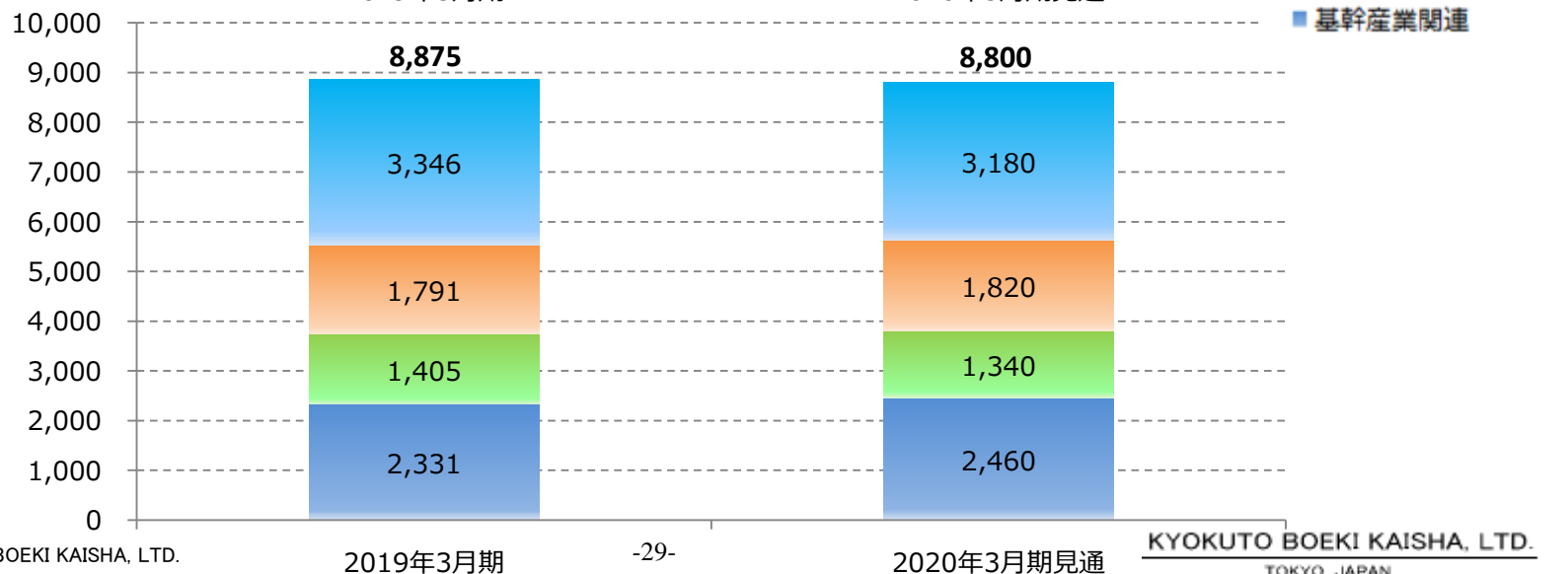
# 2020年3月期業績見通し

(単位:百万円)

売上高



売上総利益





## 配当に関して

---

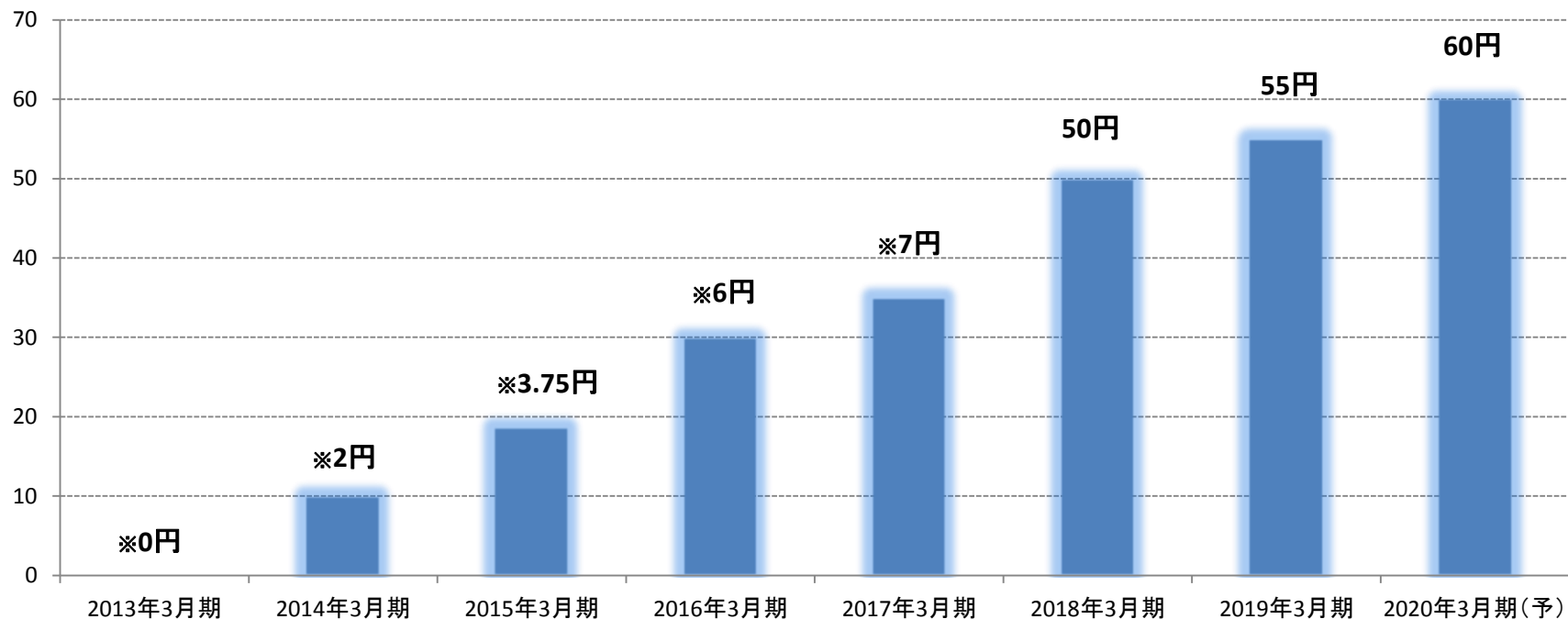
# 配当に関して

2019年3月期 【年間】 55円

2020年3月期 【年間】 60円(予想)

## 年間配当金

※印配当金は、株式併合前金額



## 株主優待制度も新設

## より一層の株主還元を目指してまいります

ご清聴ありがとうございました。



### 見通しに関する注意事項

この決算説明資料に記載されている売上高及び利益等の計画金額は、いずれも、当社及び当社グループ会社の事業に関連する業界の動向についての見通しを含む国内及び諸外国の経済状況、並びに各種通貨間の為替レートの変動その他の業績に影響を与える要因についての現時点での入手可能な情報をもとにした見通しを前提としています。

これらは、市況、競合状況、新規取扱商品の導入及びその成否等、多くの不確実な要因の影響を受けます。従って、実際の売上高及び利益等は、この資料に記載されている計画とは大きく異なる場合があります。